

2018年1月17日

マツダ、米国環境保護庁(EPA)燃費トレンドレポートの 「企業平均燃費値」で5年連続総合1位獲得

マツダ株式会社(以下、マツダ)は、このたび、米国環境保護庁(Environmental Protection Agency、以下EPA)が1月12日に公表した2016モデルイヤー車の「燃費トレンドレポート*1」において、マツダの企業平均燃費値*2が総合1位であったと発表しました。マツダの総合1位獲得は5年連続となります。

EPAの「燃費トレンドレポート」は、当該モデルイヤーとして米国で発売された車種の燃費動向をまとめたもので、各社別に企業平均燃費実績値を集計した結果などが公表されています。マツダの2016モデルイヤー車総合の平均燃費は、29.6mpg(マイル毎ガロン)で、前年比0.4mpgの改善となりました。

マツダは、美しい地球と心豊かな人・社会の実現を使命と捉え、すべてのお客さまに「走る喜び」と「優れた環境・安全技術」をお届けすることを目指し、エンジン、トランスミッション、ボディ、シャシーの革新的新世代技術「SKYACTIV TECHNOLOGY(スカイアクティブ・テクノロジー)」を開発し、幅広く商品に展開しています。この継続的な取り組みが、企業平均燃費値の5年連続総合1位という結果につながったものと考えています。

マツダは、将来においても「地球」、「社会」、「人」とクルマが共存する世界の実現を目指し、「走る喜び」にあふれたカーライフを通じて、お客さまの人生をより豊かにし、お客さまとの間に特別な絆を持ったブランドになることを目指してまいります。



「マツダ CX-9」(米国仕様 2016 年モデル)

*1 燃費トレンドレポート: EPA が公表している 1975 年以降の新車(乗用車と小型トラック)の燃費値の推移をまとめた年次報告書。 <http://www3.epa.gov/otaq/fetrends-complete.htm>

*2 企業平均燃費値: 各社が一年間に販売した車の平均燃費。EPA の「燃費トレンドレポート」では、EPA が定

めた手法による各車種の燃費値(市街地と高速道路走行時)をモデルイヤー(年式)ごとに販売台数に応じて加重平均している。

以上

【ご参考】

■米国環境保護庁(EPA)のウェブサイト:

<http://www.epa.gov/>

■マツダの環境技術サイト

<http://www.mazda.com/jp/technology/env/>